



NPC incorporated

2021年8月期 決算説明会資料

2021年10月14日

株式会社エヌ・ピー・シー
代表取締役社長
伊藤 雅文



2021年8月期業績

連結損益計算書

(単位：百万円)

	2020年8月期		2021年8月期							
	実績		期初予想 (2020.10.12)		修正予想 (2021.4.12)		実績			
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	前期比 (%)	修正予想 比(%)
売上高	7,938	100.0	5,849	100.0	5,539	100.0	5,217	100.0	△34.3	△5.8
売上総利益	1,811	22.8	1,383	23.6	1,515	27.4	1,657	31.8	△8.5	9.4
販売管理費	932	11.7	1,056	18.1	999	18.0	966	18.5	3.6	△3.3
営業利益	879	11.1	327	5.6	515	9.3	691	13.2	△21.4	34.2
営業外収益	22	0.3	0	-	2	0.0	3	0.1	△86.4	50.0
営業外費用	16	0.2	23	0.4	24	0.4	24	0.5	50.0	0.0
経常利益	884	11.1	303	5.2	492	8.9	670	12.8	△24.2	36.2
特別利益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特別損失	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
税引前当期純利益	884	11.1	303	5.2	492	8.9	670	12.8	△24.2	36.2
法人税等	92	1.2	25	0.4	163	2.9	203	3.9	120.7	24.5
法人税等調整額	43	0.5	-	-	-	-	55	1.1	27.9	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	749	9.4	277	4.8	328	5.9	411	7.9	△45.1	25.3

(注) 前期比、期初予想比はその増減比です

Copyright © 2021 NPC Incorporated. All rights reserved.

2

2021年8月期 決算概要

■売上高

修正予想に対して若干の未達となった

- ・海外向けFA装置案件のスケジュールが顧客都合により後ろ倒しになった
- ・検収に時間を要し期ずれが発生した案件があった
- ・装置部品販売は予定を上回った

■売上総利益

利益率の改善等により修正予想を大きく上回った

- 装置関連事業：部品販売の増加、現地作業等の原価低減の積み上げによる利益率の上昇
- 環境関連事業：検査サービスにおける工程管理と原価低減による利益率の上昇

■販売管理費

予想を下回った

- 減少した費用：給料手当（業務効率化による残業の減少）、研究開発費、旅費交通費
- 増加した費用：賞与引当金（従業員への還元）

■営業利益、経常利益

利益の増加および販売管理費の減少により増益となった

■親会社株主に帰属する当期純利益

米国における税金計上、繰延税金資産の取り崩しがあったものの、予想を上回った

Copyright © 2021 NPC Incorporated. All rights reserved.

3

2021年8月期 決算概要

装置関連事業

(単位：百万円)

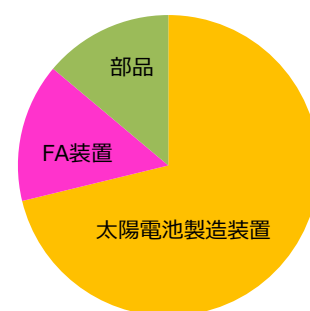
	2020年8月期		2021年8月期					
	実績		修正予想 (2021.4.12発表)		実績			
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	前期比(%)	修正予想比(%)
売上高	7,485	100	5,207	100	4,905	100.0	△34.5	△5.8
売上総利益	1,612	21.5	1,427	27.4	1,567	31.9	△2.8	9.8
販売管理費	325	4.3	344	6.6	316	6.4	△2.8	△8.1
営業利益	1,286	17.2	1,082	20.8	1,250	25.5	△2.8	15.5

(注) 上記表中に含まれない全社費用が存在します。また、前期比及び期初予想比はその増減比です。

■売上高

- ・ First Solar社に前期納入した新工場向け装置のセットアップを実施
その他の既設ラインの改造や増設も実施
- ・ 米国企業へ住宅用太陽光パネル、衛星用太陽光パネルの製造装置を売上
- ・ FA装置は主に好調な電子部品業界向けに搬送装置等を売上計上
- ・ 部品販売は、装置の予備部品や消耗品を主にFirst Solar社に売上

売上高の内訳



■売上総利益

部品販売と海外現地作業等による原価低減の積み上げで利益率が向上

■販売管理費

- ・ 研究開発費の発生が一部後ろ倒しとなった
- ・ コロナ禍により旅費交通費が減少した

Copyright © 2021 NPC Incorporated. All rights reserved.

2021年8月期 決算概要

環境関連事業

(単位：百万円)

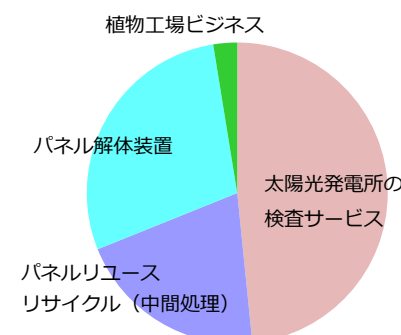
	2020年8月期		2021年8月期					
	実績		修正予想 (2021.4.12発表)		実績			
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	前期比(%)	修正予想比(%)
売上高	453	100	332	100	311	100.0	△31.3	△6.3
売上総利益	199	43.9	87	26.2	89	28.6	△55.3	2.3
販売管理費	56	12.4	63	19.0	60	19.3	7.1	△4.8
営業利益	143	31.6	23	6.9	29	9.3	△79.7	26.1

(注) 上記表中に含まれない全社費用が存在します。また、前期比及び期初予想比はその増減比です。

■売上高

- ・ 大規模太陽光発電所を中心に竣工前検査やスポット検査を予定通り実施
- ・ 全国の排出パネルを対象にリユース販売・リサイクルを予定通り実施
- ・ パネル解体装置は予定を下回ったが、国内向けに以下の装置を販売
 - ガラス分離装置（ホットナイフ分離法®）：1台
 - フレーム除去装置：2台

売上高の内訳



■売上総利益

検査サービスでの工程管理と最適な人員手配で原価を低減

■販売管理費

概ね予定通りとなった

Copyright © 2021 NPC Incorporated. All rights reserved.

(単位：百万円)

	2020年8月期		2021年8月期			
	受注高	受注残高	受注高	前期比(%)	受注残高	前期比(%)
装置関連事業	3,461	3,469	5,363	55.0	3,927	13.2
環境関連事業	361	197	215	△40.4	101	△48.7
合計	3,823	3,666	5,579	45.9	4,028	9.9

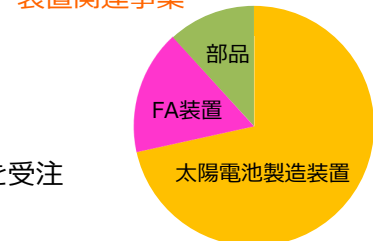
(注) 前期比はその増減比です。

受注高の内訳

■ 装置関連事業

- 全体的に好調となった
- First Solar社から米国新工場関連の装置を受注
米国新工場向けの残りとインド新工場向け装置は2022年8月期に受注予定
- FA装置は国内の電子部品業界を中心に受注
- NPC Americaの第1号案件として現地日系企業から車載部品関連のFA装置を受注

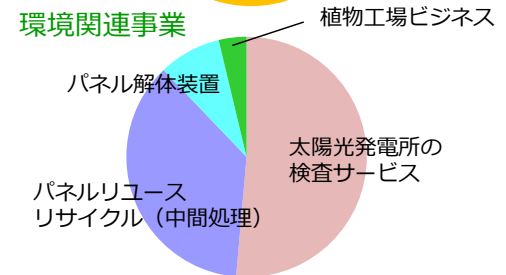
装置関連事業



■ 環境関連事業

- 全体として予定を下回った
- 検査サービスは堅調だが一部施工延期等が発生して未達であった
- リユース・リサイクルは小規模案件の受注を積み上げた
- パネル解体装置はフランス企業からフレーム除去装置を受注
同社からは自動解体ラインを2022年8月期に受注予定

環境関連事業



Copyright © 2021 NPC Incorporated. All rights reserved.

6

2021年8月期 決算概要

貸借対照表

(単位：百万円)

	2020.8末	2021.8末		2020.8末	2021.8末
資産	10,104	8,846	負債	3,060	1,462
流動資産	6,181	4,971	流動負債	3,028	1,418
現預金	2,053	3,326	買掛金・電子記録債務	1,593	484
受取手形・売掛金・電子記録債権	2,363	980	前受金	864	384
仕掛品	1,501	542	引当金	295	358
原材料・貯蔵品	16	5	その他	276	192
その他	248	117	固定負債	32	44
固定資産	3,923	3874	純資産	7,044	7,383
建物・構築物 (純額)	2,107	1,970	資本金・資本剰余金	5,547	5,555
土地	1,548	1,548	利益剰余金	1,516	1,850
その他	268	356	その他	△19	△22

■ 変動要因について

- 売上計上により仕掛品や前受金が減少したことや債務の決済等により、全体的に総資産が圧縮された
- 利益を計上したことや債権の決済等により、現預金残高が更に向上した
- 設備投資により新会計システムを導入し、固定資産「その他」が増加した

■ 健全性について

- 現預金残高は高水準、かつ、有利子負債ゼロを維持
- 20億円のコミットメントライン契約を継続
- 自己資本比率は83.5%

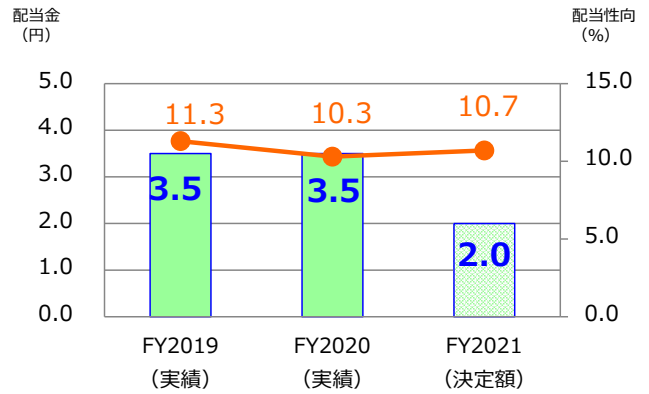
Copyright © 2021 NPC Incorporated. All rights reserved.

7

■ 剰余金の配当

これまでの配当性向を基準に安定配当を実施

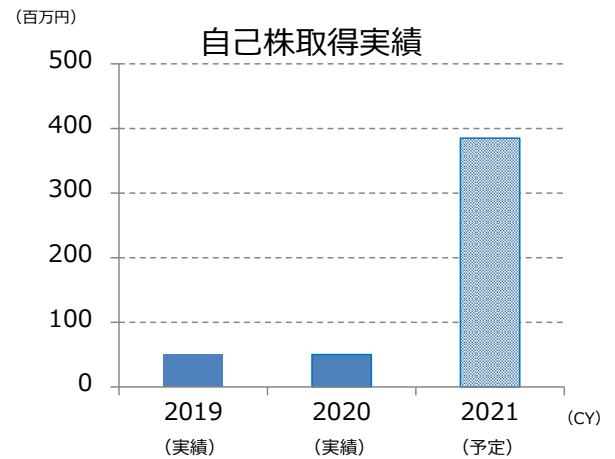
- ・ 1株あたり2.0円とする（期初予想どおり）
- ・ 配当性向は従来と同水準とする
- ・ 配当総額は43,834千円



■ 自己株取得

豊富な現預金を有効活用し ROE向上とPBR低下で株主価値の向上を図る

- 取得時期 : 2021年10月13日～12月29日
- 取得株式総数上限 : 450,000株（発行済株式総数の2.05%）
- 取得価額の上限総額 : 350百万円

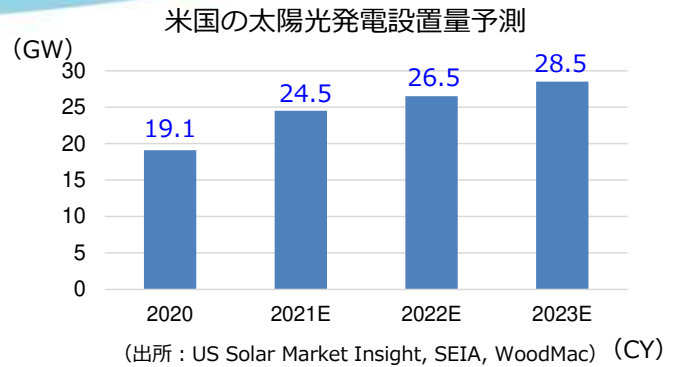


当社の取り組み 市場環境

装置関連事業：太陽電池製造装置 アメリカの太陽電池市場動向

■太陽電池市場の成長

- 背景：バイデン政権の脱炭素政策
- 成長要因
 - ・ ITC（投資税額控除）の延長（2020年12月）
 - ・ 各州で独自に再エネ導入の取り組み
 - ・ 電力需要家である企業が再エネを積極的に調達



■市場動向、政策動向とFirst Solarへの影響

トピック	動向	First Solarへの影響
脱炭素の取り組み	Amazon, Google等、大企業によるPPA（長期電力購入契約）の締結	大規模発電所でのパネル需要増加
新疆ウイグル問題	一部中国企業のシリコン製品に違反商品保留命令発出	シリコン原料使用せず製造に支障なし
Made in USA支援	米国内太陽電池関連メーカーに対する税制優遇法案 提出	米国内パネルメーカーとして優遇の対象
アンチダンピング課税	中国企業の第三国を經由した課税回避について調査が開始される可能性あり	価格競争が緩和される
セーフガード関税	延長するかどうかを検証予定	

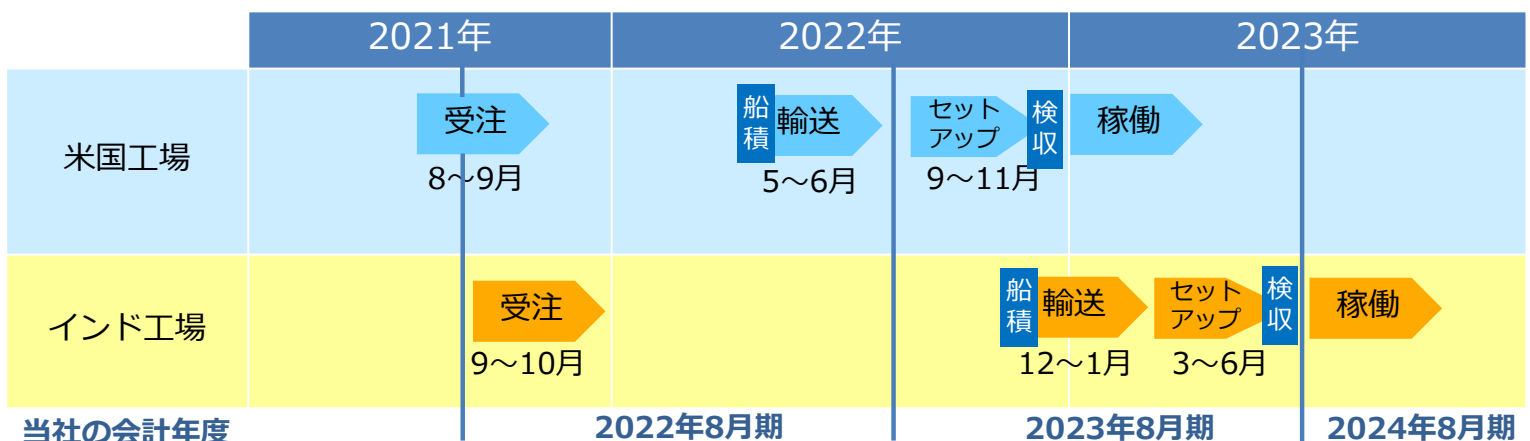
装置関連事業：太陽電池製造装置 First Solar との取引

■First Solarの設備投資計画

- 新工場建設を発表
米国、インドの2か所
計6.6GW
- 当社の受注見込み額
2工場分 約55億円
 - 29期 約21億円
 - 30期 約34億円



■当社の受注見込み、予想スケジュール



装置関連事業：太陽電池製造装置 First Solar社以外

■ 海外市場

納入実績のある顧客に29期装置を売上

建材一体型の特殊な住宅用パネルを製造する米国企業に対し、コアプロセスの製造装置を売上
 大手米国企業に衛星用パネル製造装置を売上 30期にも売上計上見込み
 米国以外にもアジア・ヨーロッパ等の既存顧客から改造等の引合いあり

■ 国内市場

日本政府の脱炭素政策を背景に、数年ぶりに国内太陽電池メーカーの設備投資の動きが見られる

住宅用パネル向け太陽電池製造装置を受注 30期売上予定
 衛星用パネル向け太陽電池製造装置の受注を目指す



日本の主な脱炭素政策動向

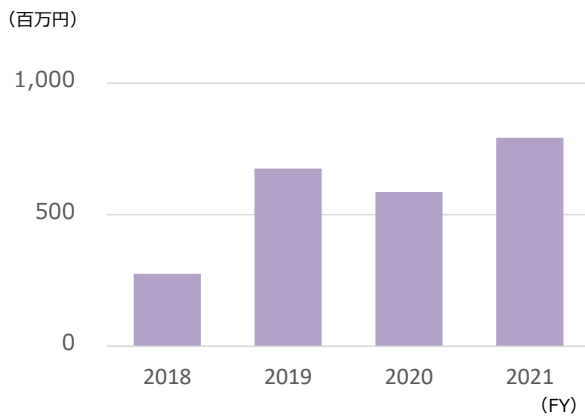
4月	日本政府目標	2030年度の温暖化ガス排出を13年度比46%削減
5月	温暖化対策法改正案成立	「2050年までの脱炭素社会の実現」を明記
6月	改正産業競争力強化法成立	カーボンニュートラルの実現に向けた設備投資等を支援する税制優遇措置
7月	経済産業省 「次期エネルギー基本計画」	2030年における電源構成の想定 再生可能エネルギー36～38%、原子力20～22%、水素・アンモニア1%

Copyright © 2021 NPC Incorporated. All rights reserved.

12

装置関連事業：FA装置①

■ FA装置売上高推移



順調に事業の柱へと成長

■ FA装置実績

電子部品業界

搬送装置

自動車業界

車載部品の組立ライン

ディスプレイ業界

・フィルム真空貼合装置
・シート提供装置

食品業界

包装装置、梱包装置

その他

真空断熱パネル封止装置

**設備投資が活発
国内向け受注多数**

■ 今後の取り組み (ほか)

- ・ 好調な電子部品業界から着実にリピート受注を獲得
- ・ その他業界での新規受注を目指す
- ・ 米国市場への注力
- ・ 電装品等、部材の長納期化への対応
(代替部品への変更、海外子会社を活用した海外調達)



Copyright © 2021 NPC Incorporated. All rights reserved.

13

■ NPC America Automation Inc.

➤ 現地日系企業のニーズ

- ・日本サイドで実績のある装置を米国でも使用しているが、装置メーカーが必要な改造に対応できない
- ・コロナ禍で人流が制限されたことにより、日本サイドには頼らず米国現地法人での対応がより求められている

➤ NPC America の強み

- ・米国拠点において設計・製造・保守・改造を現地で対応できる
- ・UL規格、NEC規格に対応できる

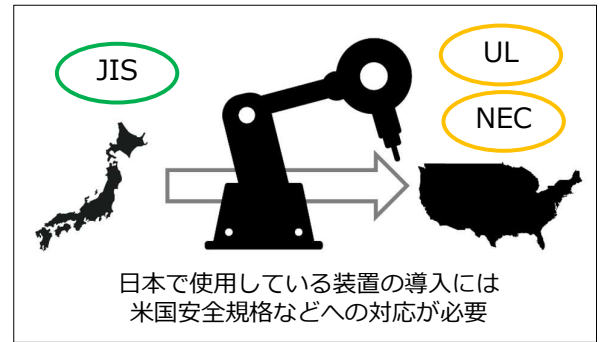
**4月1日オープン後、7月に日系自動車関連企業から初受注
その他引き合いも多数**

➤ ターゲット

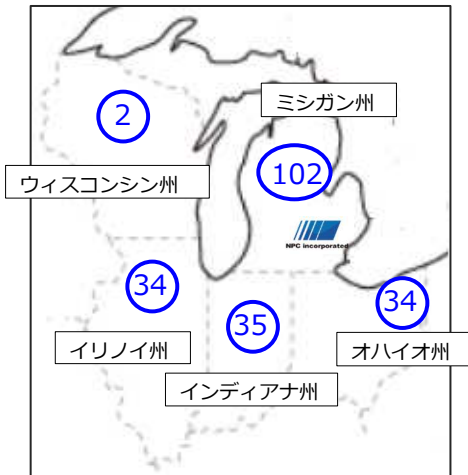
自動車関連の日系企業（車載部品メーカー等）約200社

➤ 今後の取り組み

- ・強みを活かし、顧客の要望にきめ細かく対応し受注を獲得する
- ・米国での実績をきっかけに日本サイド（親会社）での新規受注を目指す

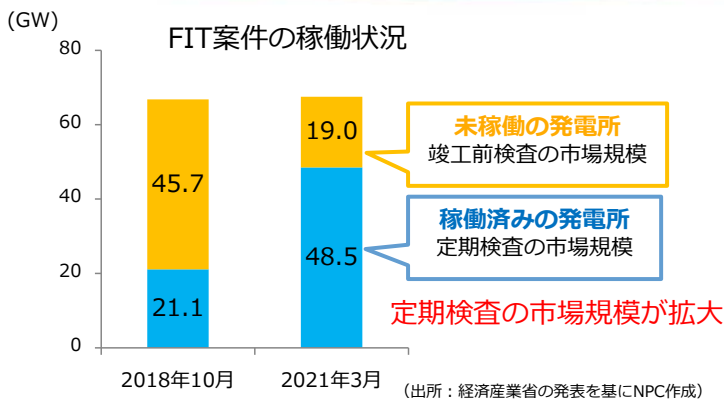


周辺エリアでターゲットとなる企業の数



環境関連事業：

① 太陽光発電所の検査サービス



定期検査における検査メニュー

法定検査 安全性を確認する検査が中心（年1回）

外観検査、絶縁抵抗検査、接地抵抗検査など

任意検査・サービス 品質確認や発電量を向上させる検査

電流・電圧検査（I-V検査）、ドローンによるIR検査
パネルの洗浄、陰になる部分の除草作業など

■ 市場動向と今後の取り組み

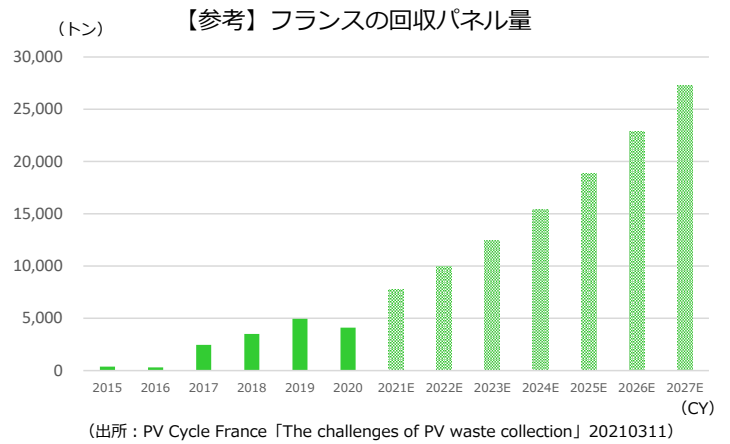
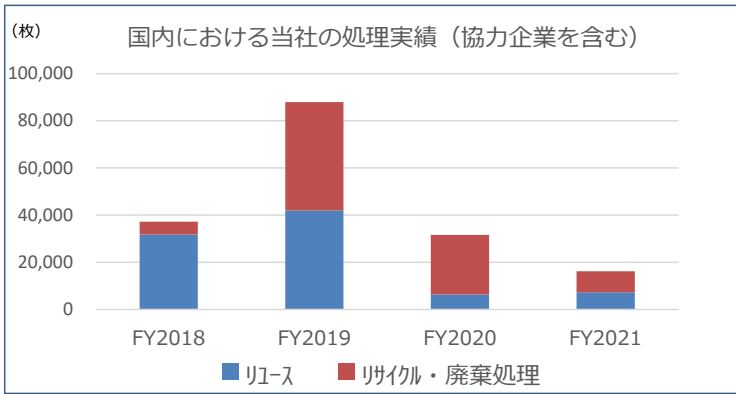
➤ 竣工前検査の受注獲得

- ・未稼働発電所の多くはより品質を重視する外資系発電事業者 EPC経由では詳しくニーズを把握できないため、発電事業者に対し直接営業
- ・30MW以上の未稼働発電所127件のうち、検査を実施する可能性が高い42件に絞った網羅的な営業

➤ 定期検査の獲得を強化してストックビジネスを拡大

- ・これまでの豊富な検査実績（全国226件の発電所検査）を活かした既存顧客への提案
- ・ニーズが増えている費用対効果の高い任意検査・サービス（ドローンIR、パネル洗浄、除草作業等）の強化
- ・ソーラーウェルネス以外にも任意検査・サービスができる協力企業のネットワークを拡大

② パネルのリユース・リサイクル



■ 市場動向

- 国内で排出されるものは当面は被災パネルが中心だが、足元で発生量は少ない（被災パネル以外の新古パネル・置き換えパネル等はFY2019までにある程度出尽くした）
- 欧州では既にFIT切れパネルが発生して排出量が増加（日本のFIT切れは2030年頃から）

■ 今後の取り組み

- 保険会社と提携し災害後のパネル撤去の情報をキャッチ
- 日本全国の収集運搬業者・処分業者・解体業者とのネットワーク拡大（現在の25社からFY2022で30社以上へ）
- パネルに使用されている材料の用途開発を進めてリサイクルコストを低減

③ パネル解体装置（国内）

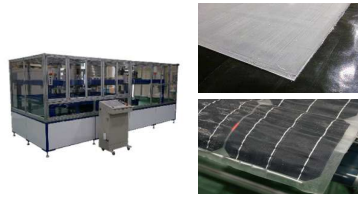
パネル解体装置の種類

フレーム除去装置

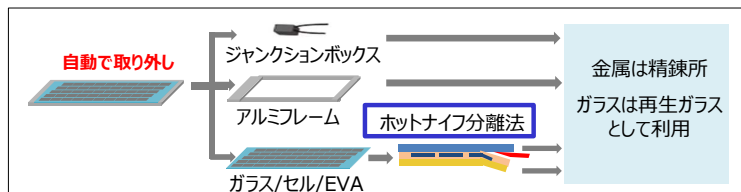


リサイクルしやすいアルミフレームとJ-Box（銅線）を除去する装置

ガラス分離装置



ホットナイフ分離法®によりガラスとセルシート（金属）を分離する装置



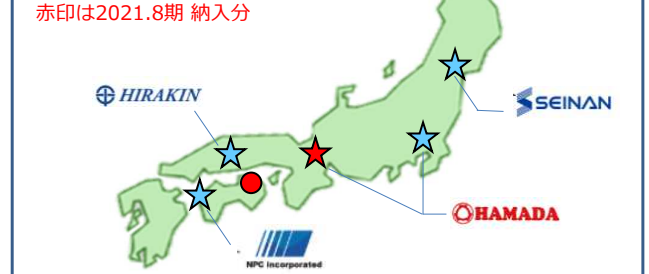
パネル解体装置の納入先

☆ フレーム除去装置&ガラス分離装置

○ フレーム除去装置のみ

青印は2020.8期以前 納入分

赤印は2021.8期 納入分



■ 市場動向

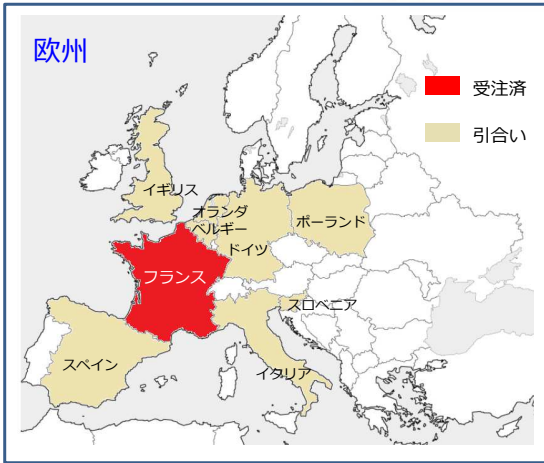
- 現時点ではパネル排出量は少ないが、市場が形成される前に先行したいと考えている企業は多い
- サステナブルな取り組みとして解体装置の導入を考えている企業がある
- 補助金で装置導入を検討する企業が多いが、補助金は廃プラ処理事業が優先されパネル処理の予算は少ない

■ 当社松山工場におけるリサイクル（中間処理業）の状況

- 排出パネル確保のため四国の産業廃棄物協会に加入して約450社と繋がりを作った
- リサイクル率の向上と処理コストの低減を図っている

③ パネル解体装置（海外）

海外初受注



主な動向

- Soren（旧PV Cycle France）の入札で「ホットナイフ分離法®」が採択
- 上記入札を受けたEnvie 2E Aquitaine社からフレーム除去装置を受注
同社からガラス分離装置を含む自動解体ラインを追加受注予定
- シリコンその他金属の回収装置を開発しているROSI社と協力していき
国内外でリサイクル率の向上に取り組む



ドイツの大手インフラメーカー（フランス資本）や、スペインの太陽電池設置会社等とも商談中

■ 市場動向

- 欧州ではパネルリサイクルが義務化されていること、FIT終了によるパネルの排出量が多いこと、回収の仕組みがあることから廃棄パネルが大量に回収されている
- リサイクル意識が高いため、金属のリサイクル性が高い「ホットナイフ分離法®」に対する評価が高い
- 欧州以外でも米国・オーストラリア・南アフリカ・韓国・台湾・ベトナム・タイ等から引き合いあり

■ パネル解体装置における今後の取り組み

- 国内では補助金申請のサポートとともに提案する
- 欧州では、PV Cycle関連以外の、各国独自のしくみに基づいてリサイクル事業を行う企業へ提案する
- 今後3か年で15億円の販売を目指す（30期受注 約4億円を予定）

④ 植物工場ビジネス

■ 生産体制

- 2021年3月から生産開始、8月に最大生産の7,200株/週を達成
- 2021年8月設置のリユースパネルを利用した屋上太陽光発電設備が稼働



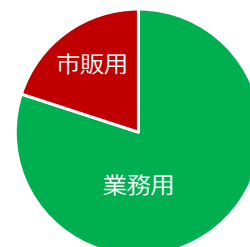
生産の様子



リユースパネルを用いた発電設備

■ 販売状況

- 業務用（商社・食品工場等）として安定的な販売先を確保済み
- 「はこひめ」ブランドで県内スーパー5社等で市販用を販売
- 豪雨・長雨によるレタス不足で価格高騰



市販用「はこひめ」

■ 増産計画

- 2022年1月から増産（生産能力を2倍とする）
- 2022年3月までに生產品目を追加（2種→3種）

■ 今後の取り組み

- 専用サイトを立ち上げてECサイトでの販売
- PB商品としてOEM生産の受注獲得
- 段階的に生産能力を拡大して2024年8月期に黒字化させる
- 栽培システムの自動化の開発



テレビCM（当社HP、youtubeで公開中）

新たな取り組みの進捗：

太陽光パネル以外の持続可能なビジネスへの投資、技術開発

新たな取り組み

太陽光パネル以外の持続可能なビジネスへの投資、技術開発

廃棄物の選別装置（リサイクル装置）

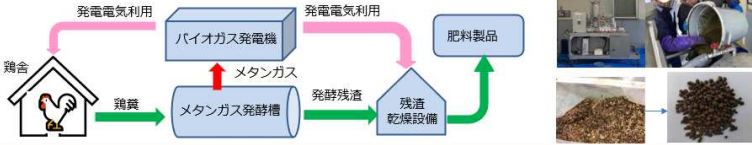
現状 ゴミ分別は処理場で手作業で行われている
衛生面・安全面の問題と高齢化で人手不足
FA装置の提供による課題解決をめざす
画像情報による分別技術を検証中



鶏糞によるクリーンエネルギーを利用した肥料製造

鶏糞をメタン発酵させ、発酵残渣を乾燥設備で乾燥、肥料を製造
発生したメタンガスを利用してバイオガス発電機で発電、乾燥設備や鶏舎の電力を賄う

【イメージ図】

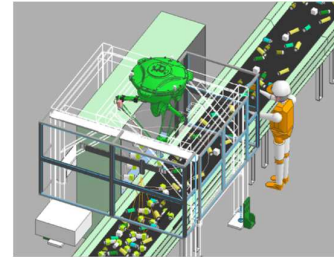


Copyright © 2021 NPC Incorporated. All rights reserved.

(出所：2021年8月期第2四半期決算説明会資料20210414)

ペットボトルの選別装置を開発中

- AIを活用した自動判定システム
- ロボットによる自動選別



2022年2月 プロトタイプ完成予定



2021年9月 松山工場でテスト開始

2022年8月期業績予想

■売上高

装置関連事業

- ・ First Solar社の既存ラインの改造・増設案件を売上予定
- ・ 新工場（米国）向け装置の売上は2023年8月期となる
- ・ 国内の太陽電池メーカーへの売上を見込む
- ・ 太陽電池業界以外のFA装置は、国内では電子部品業界、米国では自動車業界を中心に見込む
- ・ 電装品等の部材が長納期化 代替部品や海外調達で対応する

環境関連事業

- ・ 検査サービスは引き続き堅調
- ・ フランス向けパネル解体装置（フレーム除去装置、フレーム除去装置とガラス分離装置を含む自動ライン）の売上を予定
- ・ パネルリユース・リサイクルは確実な案件以外は堅く見積もる

■費用・利益

- ・ 売上総利益率は高い水準を達成見込み
- ・ 費用面では、植物工場ビジネスの増設分の設備投資、新規事業開発のための研究開発費が微増予定

2022年8月期 投資計画

■設備投資費、減価償却費、研究開発費

(単位：百万円)

	2020年8月期 実績	2021年8月期 実績	2022年8月期 予想	備考
設備投資費	70	224	100	植物工場ビジネスの生産設備（増産）など
減価償却費	198	198	227	2021年8月期実施の設備投資により増加
研究開発費	68	65	79	新事業（ペットボトル選別装置、鶏糞処理システム） 太陽電池製造装置の新機構に関する開発 新技術を含む新規FA装置に関する開発

■ 会計監査人の変更

EY新日本有限責任監査法人から監査法人東海会計社へ変更

商号： 監査法人東海会計社
 設立： 1991年
 実績： 上場会社16社の会計監査を担当

- ・ 監査期間が17年と長期となったため
- ・ 当社の事業規模に適した監査対応と監査費用の相当性で新監査法人を選定

■ 市場再編に伴う上場市場の選択

- ・ グロース市場を選択
- ・ 「事業計画及び成長可能性に関する事項」は2021年12月開示予定

■ 執行役員制度の導入

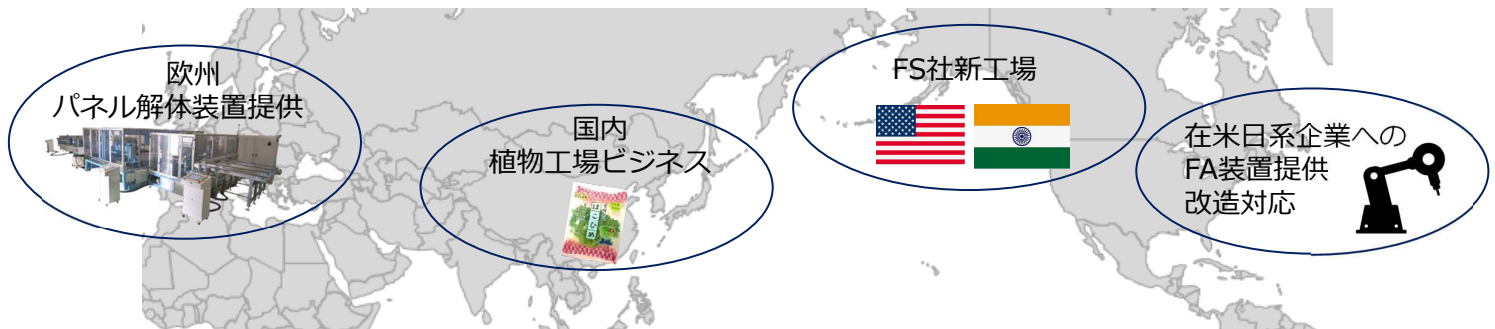
- ・ 経営の意思決定の迅速化及び機動的な業務執行を推進する
- ・ 将来に向けての経営人材育成を図る
- ・ 海外経験が豊富な社員1名を 執行役員 事業本部副本部長に任命

■ 2022年8月期配当予想

- ・ 1株当たり2.0円を継続

まとめ

太陽電池製造装置	■ First Solar社の新規2工場向け装置を受注予定、両工場ともに売上計上は2023年8月期を予定
FA装置	■ 米国でのオペレーションを順調にスタート 今後の注力分野
パネル解体装置	■ 海外案件を2021年8月期に初受注 欧州を中心に営業を強化
植物工場ビジネス	■ 順調に売り上げを伸ばしフル生産体制 品目追加と段階的増床で、2024年8月期に黒字化を目指す



IRメールマガジンで当社の最新情報をお知らせしています

IRメールマガジン登録のメリット



適時開示があった場合、速やかに情報を入手することができます。



月1回配信している「NPC通信」では最新の市場動向等をお知らせします。



不定期で開催している工場見学会等をメルマガ登録者に優先的に早期案内します。

上記以外のお知らせも都度配信しています

■登録方法

- ①当社社員にお声がけ下さい。当社で登録作業を行います。
- ②以下のURLから必要事項を記入の上、ご登録作業をお願いします。
<https://www.npcgroup.net/ir/mail-magazine>



Copyright © 2021 NPC Incorporated. All rights reserved.

28

本日はありがとうございました

NPCグループは、

「我々は、もの創りを通して、自然と社会と人間に必要とされる企業を目指します。」
という企業方針に則り、たゆまぬ技術革新の努力により創り出す製品を通じ、地球環境、
地域社会等に貢献して参ります。

IR問い合わせ窓口

株式会社エヌ・ピー・シー

総務部 IR担当

電話 : 03-6240-1206

FAX : 03-5817-8835

E-Mail : npc.ir@npcgroup.net

<将来見通し等に関する注意事項>

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

Copyright © 2021 NPC Incorporated. All rights reserved.

29